ＮＯ．３０５

じゅんあい

平成２４（２０１２）年８月１日

ひとつの事を主に願い

「ひとつのことを主(しゅ)に願い、それだけを求めよう。
命のある限り、主の家に宿(やど)り
主を仰(あお)ぎ望んで喜びを得(え)
その宮で朝を迎えることを。」　（詩編 27：4）

たった一つしかない人生。それを何に使うか、それによってその人の一生が決定する。
尊きに用いられる器。卑しきに用いられる器・・・。
あなたはどちらを選ぶか！
この世の地位、名誉、財産のみに心奪われ一生それで終わるのか。
きっと、その人は最後の日、何をも携えずに、そして天国に行けない自分の哀れさを知り泣くであろう。

「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があろうか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか。」
（マタイ　16：26）

“ まず神の国とその義を求めなさい ”
この事に気づき進む人は幸いである。

アッシジの聖者となったフランシスコは、裕福な商人の息子であったが青年の頃に憧れていた騎士になり、従軍していた折に神の御声を聞くのであった。

“ 神に仕えるのと人に仕えるのとどちらがよいか ” と。
フランシスコは答えた。“それは神に仕える事です。” と。

やがて、キリストに導かれ「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」（マタイ　16：24）との御言葉に身を委ね、すべてを捨ててキリストに従った。
ある日、崩れかけた聖堂を見ていると、“崩れかけし我が教会を繕え”との御声にフランシスコは心動かされ、レンガや漆喰を人々に求め、教会堂を修繕してゆくのであった。
ある日、一人の乞食がよろめきながら彼に施しを求めた。わずかなお金しかなかったが、フランシスコはそれを懐から出し、彼にあげようとしたとき、「いやいや、私があなた様から貰いたい物はお金ではありま

せん。それにもまさる心の中に与えられるキリストよりのお恵みです。」と。その言葉にフランシスコはハッとし、キリストに従って来たと思っていたが、もう一度基本姿勢にもどるべき・・・と痛感。

“崩れかけし我が教会を繕え”とは、人々の心の中に、キリストの恵みを与え、真実・愛・喜びと慰めに満ちた救いを与えてゆくことであり、これらはこの世の金銀、財宝にも勝る物であり、天来の奉仕であることを悟り、完全な僕になり切って、献身を全うするのであった。

やがて、フランシスコのその姿に感動した人々が彼の仲間に加わりたいと次々と集まってきた。このようにしてフランシスコの群が誕生するのであった。

貴族の娘クララもフランシスコの生き方に魅せられて献身を申し出てきた。男子修道会に入ることが出来ないため、そこでクララ会（女子修道会）が生まれるのであった。

我らが尊敬してやまない高山右近も、この世の何ものにも勝る御方としてキリストを選び“デウスか秀吉か”との詰問に“デウスを”と答え、明石６万石の知行を奪われつつも、キリストに在る一修道士になれたことを何よりも喜び、感謝の生涯を綴ってゆくのであった。

３年後に、右近召天４００年祭を迎えようとしている。
今、カトリック（旧教）を中心に右近列福運動が繰り広げられており、右近の徳の高さを再確認しつつある。

プロテスタント（新教）に属する私達ではあるが、教派を超えてキリストを愛した一僕ジュスト高山右近の心にあやかる者となりたいと、日夜前進中で、感謝の気持ちでいっぱいである。

右近のこの心をすべての人に分かちゆく働きをしたいと、今から２５年前に一つの群から独立し、“殉愛キリスト教会”と命名し今日に至っている。

茶室「右近庵(あん)」における人々との茶の交(まじ)わりも、茶人右近の叫(さけ)びと、キリシタンとしての清い香りに、少しでも浴(よく)したいとの願いからである。

旧約時代に詩編(しへん)に生きたダビデは
「ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。
命のある限り、主の家に宿り
主を仰ぎ望んで喜びを得
その宮で朝を迎えることを。」（詩編　27：4）と叫び、
「心よ、主はお前に言われる　『わたしの顔を尋(たず)ね求めよ』と。
主よ、わたしは御(み)顔を尋ね求めます。
御顔を隠(かく)すことなく、怒(いか)ることなく
あなたの僕を退(しりぞ)けないでください。
あなたはわたしの助け。
救いの神よ、わたしを離れないでください
見捨てないでください。」（詩編　27：8、9）と祈(いの)る。

人生にとって無くてならないただ一つのもの、
それは神御自身なのである。

聖フランシスコ：（１１８１～１２２６）
イタリアのアッシジで生まれる。２３才の時、神様の召命(しょうめい)の御(み)声を聞き献身(けんしん)。
生涯にわたり清貧(せいひん)・貞潔(ていけつ)・服従(ふくじゅう)の精神を貫(つらぬ)いた。カトリック教会の聖人。
修道会（フランシスコ会・クララ会）を設立。
キリストと同じ十字架の傷（聖痕(せいこん)）をその身に受けた。

殉愛キリスト教会　　牧師：山縣　實
〒920-0814　石川県金沢市鳴和町タ 210　Tel・Fax 076－251－2247
Ｅ-mail　：jun-i-yamagata@ishikawa.email.ne.jp
ＵＲＬ　：http://www.ne.jp/asahi/jun-ai/christ-church/